

平成26年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

—姫路市—

(姫路市安田四丁目1番地)

受賞者の取り組み

姫路市は、平成17年より、姫路城の登閣が困難な人の見学機会の確保を図るため、兵庫県立福祉のまちづくり研究所と連携し、障害者の方の参加による登閣ルートへのバリア調査を実施した。

姫路城のバリア軽減策として、スロープの設置や路面等の補強、場内の段差解消等を行い、身障者用仮設トイレの設置や既存トイレの修理、多目的トイレの整備を行った。加えて天守閣を覆う修理見学施設「天空の白鷺」内には、スロープやエレベーターを設置し、城の入口から施設までの連続したバリアフリー経路を整備した。

講評

天守閣を覆う修理見学施設「天空の白鷺」を開館し、全国ではじめての文化財の保存修理の現場を常時公開する取り組みを行った。館内にはスロープやエレベーターを整備し、また、城内には仮設スロープを設置するなど、連続したバリアフリー化経路の整備に努め、車いす利用者の見学を可能とするなど、歴史的建造物の保存修理工事を観光資源として捉える中で、高齢者や障害者等に配慮したバリアフリー化整備を行うなど、先駆的な取り組みを高く評価しました。



天空の白鷺



新設のスロープ

第8回(H26年度)国土交通大臣表彰受賞